

ふれあい・わかちあい・わたしたちの地域



発行

社会福祉法人 借恵園
借恵学園広報委員会

横浜市旭区上白根町 783

TEL 045-951-3436

FAX 045-955-5261

E-mail kaikei@estate.ocn.ne.jp

この町の中の出会い

～上白根町、寺山町、地域の皆さんへ～

町内の皆さんには、利用者、職員ともに、いつも大変お世話になり、またご迷惑をお掛けしております。

借恵学園の利用者は上白根町長坂の地に居住して36年たちました。この間町内の皆さんにご教示、また励ましや、御協力、ご支援をいただきこの地で暮らしていただくことができました。本当にありがとうございます。

町内の床屋さんと美容室さんは、毎月のように利用させていただいております。身体障害をもっている方ですと勝手に手や足、顔面などが動いてしまい床屋さんにとっては、刃物を使いますのでたいへんやりづらく緊張の連続ではないかと思えます。それでもその動きを瞬時に察知し間合いをはかりながら、時間をかけていただいて散髪が終わります。学園に帰ってくるとスター気分では自信にあふれ、いつもと違い堂々としています。みんなに「かっこよくなったね」と言われ、ますます調子にのってしまいます。

コーヒーや雑誌のテレビガイドの買い物に出かけては、お金が足りないとメモ書きや電話を頂き、職員がお店に飛んでいきお詫びしお支払いをして来ることもあります。

学園には毎年約200名の方が、教育実習、教員免許取得のための介護体験やボランティア、中学生の体験学習などで来園し長い方は2週間知的障害をもっている人達と生活を共にします。

ほとんどの方は初めてかかわることになりますが、実習前は何されるかわからない、怖い、不安と戸惑い、緊張しながら初日を迎えるそうです。その思いは初日の実習終了時には消失し、悩んでいたのが馬鹿らしい、自分の偏見に気づき、生き方を教わったという方もおられます。2日目からは生き生きとして利用者と作業をし食事をし入浴介助をし楽しんでいるようにも見えます。

知的に障害をもっている、心は皆さんと同じで優しさをいっぱい持っている人達です。信号や買い物、計算、人とのやりとりなど解らないことはたくさんあります。町の中で、目に余ることがありましたら解りやすい言葉で注意していただければ幸いです。

お願いすることばかりで大変申し訳ありません。目に見える形では何もおかせできません。歯がゆい気持ちいっぱいですが、感謝の念だけは一時も忘れず、この地で暮らし続けていきたいと思えますので、今後とも末永く支えていただき、見守り続けていただきたくよろしくお願い致します。

支援部長 嶋貴恵寿